

令和３年度 第２回宇美町総合戦略推進懇談会

次 第

日時：令和３年１２月８日（水）１４時から

会場：宇美町役場 ２階 大会議室（右）

１ 開会

２ 本部長あいさつ

３ 委員紹介

４ 議題

①第１期宇美町総合戦略の総括に対する宇美町総合戦略推進懇談会の意見について

②第２期宇美町総合戦略（令和２年度分）の評価・検証について

③第７次宇美町総合計画と次期総合戦略の同時策定について

５ その他

６ 閉会

第1期宇美町総合戦略の総括に対する 宇美町総合戦略推進懇談会意見まとめ

1. 第1期総合戦略総括についての意見

(1) 全体について

- ・ 特に異論がない。適切な総括である。
- ・ 数値目標や KPI について、毎年の結果が出ないものもあり、施策の成果を図る指標として適切か見直しが必要である。
- ・ 第1期総合戦略の振り返りを第2期総合戦略にどのように反映したか明確にしてほしい。
- ・ デジタル化推進への取組や高齢者への対応を行っていく必要がある。
- ・ 人口は微減であるものの、児童・生徒数が減少し、高齢者数は増えている。また、就業者も他市町へ流出しているように思われる。

(2) 「基本目標1 宇美町における安定した雇用を創出する」について

- ・ 水田の減少に歯止めをかける施策（水田のダム機能の評価）を行う必要がある。
- ・ 若年営農者の育成のための施策（児童生徒の農業体験の実施など）を行う必要がある。
- ・ 農業所得向上・安定化へ向けた施策の実施（稲作以外の農作物の栽培促進など）を行う必要がある。
- ・ 創業支援、未活用の町有地等の活用、空き地の活用などの課題に対して、金融機関との連携、情報共有により、地域経済の活性化につなげていく必要がある。
- ・ 宇美町の特産品に関して、金融機関の PR ツールを活用してはどうか。
- ・ 農業に興味を持った若者も増加してきており、農地活用、マッチングの仕組みづくりへの取り組みを強化してはどうか。
- ・ 企業誘致はもっと目標を高く設定し、そのための支援を行っていく方が良い。ミニ工業団地の造成など、企業の受け皿を作ってほしい。人口増加につながる施策であるため、起業支援よりも力を注いでほしい。
- ・ 既存企業は人材確保に苦勞をしており、就職支援というよりむしろ企業に対する採用支援を図っていくことが必要だと思う。
- ・ 企業間や異業種間、若者の意見交換ができる場を設定するのはどうか。現状の課題や今後のアイデアを交換することが出来るのではないかと思う。
- ・ 就業者が他市町へ流出しているように思われる。商店街や工業地域には活性化が見られないし、農家の後継者不足にも手が付けられていない。

(3) 「基本目標2 宇美町への新しいひとの流れをつくる」について

- ・ 定住の促進（空き家の利用と新築戸建て住宅の建設促進）を行う必要がある。
- ・ 20～39歳の女性人口の流出を止める施策の展開を行う必要がある。
- ・ 昭和の森一本松公園のバンガローの再整備（通電）、オートキャンプ場、管理棟など、利用者の目的に沿ったいろいろな形で利用ができるよう整備し、利便性とサービス向上を図る必要がある。
- ・ 20～30代の転入が高水準とのことだが、数値目標の達成のみにめをむけるのではなく、転入者がなぜ宇美町を選んだのかその理由を明確に把握することが重要である。例えば転入時にアンケート調査を行うこともよいと考える。その中から、流出の理由も見えてくるのではないかと思う。
- ・ 一本松公園は県内有数の資源でありコロナ禍でのアウトドアブームは続くと思われるため、早急に情報

発信ツールの多様化、設備の充実に取り組むことで県内外からの観光客増加が期待できると思う。民間企業とのコラボレーションも検討すべきと思う。

- ・ 妊娠期からの子育て支援は、今後より重要な課題になると思われる。町全体で一人一人の子どもを大切にする環境づくりや、保護者の安心感につながる支援が必要と考える。また、親や子も地域の人も気軽に過ごせる居場所づくりも進めてほしい。
- ・ 宇美八幡宮には多くの参拝者が見られるが、町内と他市町との観光ルートの設定などは未発達であるし、都市計画道路志免宇美線の整備も滞っているように感じる。

(4) 「基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について

- ・ 若者が結婚・出産・子育てに際し移住や定住について考えるとき、定住や子育てに関する市町村の金銭的支援策は、重要な要件のようであるため、これらの施策を検討してはどうか。
- ・ お見合いパーティーは企画しても魅力的ではなく、婚姻増加数にはさほど影響しないではないかと思う。
- ・ 待機児童数ゼロや学童クラブの充実はすばらしい結果だと思う。

(5) 「基本目標4 時代に合った地域をつくり、暮らしの安全安心を守るとともに、地域と地域を連携する」について

- ・ 県道の渋滞解消を行う必要がある。
- ・ 都心へのアクセス道路の整備も重要であるが、小さな子供を育てるものにとっては歩道の整備も重要である。(役場前の県道など)
- ・ 都市機能の集約化が利便性の向上につながるのとことであるが、そのとおりであり、役場を中心に病院、銀行、ショッピングセンター及び飲食店の集約を行い、各地を結ぶ巡回バスを走らせることが理想だと考える。
- ・ 公園遊具の撤去や福祉巡回バスの運用には、幼児や高齢者が不満を持っている。
- ・ 宇美町老人会の会員減少や、文化のつどいのマンネリ感、スポーツ大会において自治会対抗戦という形が非常に困難なものになっていること、校区コミュニティの運営も進展していない。

2. 第2期総合戦略の見直しについての意見

(1) 全体について

- ・ 今後も起こりうる様々な感染症を想定し、国・県の施策と連動した感染症予防対策と住民の生活・地域経済のバランスを取りながらの施策の展開をお願いしたい。
- ・ 経済・社会情勢・総合戦略の進捗などを考慮した見直しが必要と考える。
- ・ コロナ禍の現状を把握するために、各施設・企業・住民の方々にアンケート調査を実施し、何に困ったか、または、現在何に困っているか等を聞いて今後の施策に生かしてはどうか。
- ・ 戦略の取り組みの必要性は「町民（若年層）が夢多い未来を目指して活力にみちたまちをつくる」ことだと思う。多くの計画を目指すのではなく、最小限に絞り「オール宇美」で集中すべきだと思う。
- ・ 第2期総合戦略については、第1期を正しく振り返り、町職員で策定した事は良いことだと思う。「絵にかいた餅」にならずに、まちづくりを推進していくよう叡智を結集されることを期待する。
- ・ どの分野においても関わる人々が「希望」を持ち、語り合うことができれば、その中から工夫しアイデアが生まれ実現できるものがあると思う。困難なことも大人が努力している姿勢を見せることで子供たちの希望にもなっていくと思う。多くの話し合いの場の設定を願う。

(2) 総合戦略の推進(進捗管理)について

- ・ PDCA サイクルによって、毎年度、業務改善をしていくことは必要なことと思うが、様々な業務計画がある中で重複した事務になっていないか、検証する必要がある。
- ・ 総合戦略は長期にわたる計画であり、基本目標の数値目標は現状維持として達成状況が「C」のものについては優先的に取り組むよう検討できればと思う。
- ・ 具体的な進捗状況が分かりにくいと評価や意見をすることが難しい。
- ・ 総合戦略推進懇談会については、コロナ禍においても必ず開催すべきだと思う。

(3) 指標について

- ・ コロナ禍を踏まえ、起業件数・子育て支援・もえるゴミの収集量は目標の設定を見直す必要性を感じる。

(4) 取組について

- ・ 総合戦略の策定主旨に、「社会経済のデジタル化を新たな柱に据え、住民の利便性向上を図りテレワークの推進に取り組み、都市一曲集中の是正を促し、移住促進に取り組む」のような言葉を謳ってはどうか。
- ・ デジタル化に伴い、町民誰一人、情報社会から取り残されないことなど、情報格差を生まない取り組みなど、近隣市町に先駆けた宇美町独自のデジタル化の取り組みを行ってはどうか。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、テレワークなどの観点から地方への関心が高まったことを踏まえ、移住促進及び、支援の取り組みを行ってはどうか。
- ・ 基本目標2「安心して子どもを産み育てることができるまちをつくる」もしくは、基本目標3「誰もが安心して暮らし、活躍できるまち（地域社会）をつくる」のいずれかに「飛行犯罪少年を生まない取り組み」について明文化してはどうか。
- ・ 宇美町に移住・定住を促進するためには、就業機会を作ることが大切である。地元企業は製造業を中心に人手不足で苦勞している実態を踏まえ、合同の就職相談会を継続して開催することを推奨する。
- ・ 全ての世代の人が、学びたい時に学べる生涯学習は、生きがいにもなり重要だと思われる。その為にも図書館を中核に様々な発信をお願いしたい。
- ・ 町のホームページに画像やイラストなどを今以上に使用し、より親しみやすく、明るい、住民がチェックをしたくなる発信の工夫や更新をお願いしたい。
- ・ 子どもたちの声や大人たちの声を大切にするために、「子ども子育て権利条例」について広く周知をし、子どもたちが「NO」と言える、意見を言えるように権利条例が身近になるよう進めてほしい。